

## 2 比率の解説

$$\text{出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \quad \text{15歳から49歳までの合計}$$

15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の平均子ども数に相当する。

$$\text{未婚率 (年齢階級別)} = \frac{\text{ある年齢 (年齢階級別) まだ結婚をしたことのない人}}{\text{ある年齢 (年齢階級別) 人口}} \times 100$$

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{年間婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{年間離婚届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{労働力人口率} = \frac{\text{労働力人口}}{\text{15歳以上人口}} \times 100$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出産数 (出生 + 妊娠満22週以後の死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{妊産婦死亡率} = \frac{\text{年間妊産婦死亡数}}{\text{年間出生産数}} \times 10,000$$

$$\text{低体重児出生率} = \frac{\text{1年間の2,500g未満の出生数}}{\text{1年間の出生数}} \times 100$$

$$\text{人工妊娠中絶実施率 (総数)} = \frac{\text{人工妊娠中絶総件数}}{\text{15歳以上50歳未満女子人口}} \times 1,000$$

$$\text{人工妊娠中絶実施率 (20歳未満)} = \frac{\text{20歳未満の人工妊娠中絶件数}}{\text{15歳以上20歳未満女子人口}} \times 1,000$$